ベトコムバンク（VCB）

New-S Wealth Management

《企業紹介》

同社はベトナムでユニバーサルバンキングサービスを展開する銀行で、大手4行（ベトナム投資開発銀行、ヴィエティンバンク、ベトコムバンク、アグリバンク）の一角を占める。同社の強みとして、国際的な信用調査機関からベトナム国内の銀行の中で最も高い信用評価を得ていることが挙げられよう。

1963年4月にベトナム国立銀行の外国為替部門がスピンオフして設立され、1990年に外国為替専業銀行から商業銀行へ転換、その後事業の多様化を進めて2009年に民営化企業として初めて株式を公開した。2011年にみずほ銀行と戦略提携し、みずほ銀行は同社の株式の15%を保有している。

《2026年7―9月期業績》

2026年7―9月期の営業収入（対応費用を差し引いた純額、以下収入は全て純額）は前年同期比40.9%増の25.4兆VND（ベトナムドン）だった。金利収入は同39.1%増の20.3兆VNDに増加した。貸出債権残高は同11.8%増の1,784兆VNDだったが、積極的な貸出金利の引き上げによって調達コストの上昇を吸収し、預貸利ザヤの改善を加速させることに成功したようだ。無理な貸出債権残高の増加を避け、適正な貸出金利の設定によって預貸利ザヤの改善を進めてきた経営戦略が成果を上げている。手数料収入はコストの増加によって同3.6%減の9,043億VNDにとどまったが、その他収入は同68.6%増の4.1兆VNDに増加した。外国為替売買益の大幅な増加が牽引役だった。

税前利益は同0.2%減の11.2兆VND、純利益は同0.1%増の9.0兆VNDとなった。営業費用が同33.0%増の8.0兆VNDと営業収入の増加ペースを下回ったが、貸倒引当金が同697.3%増の6.1兆VNDに増加したため、利益水準は前年同期比横ばい圏にとどまった。なお、貸倒引当金の増加は、同社が保有する社債の価格下落リスクに対する予防的かつ積極的な引当金の計上によるもので、市中金利の上昇による社債価格の下落リスクに対応したものでもある。収益力の強化を進めているが、資産の健全性の向上にも余念がないといえそうだ。

図表1　四半期業績の推移（単位　十億VND）

	2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1－3月期		2026年4-6月期		2026年7-9月期	
		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）		前年同期比（%）
営業収入	18,052.1	7.2	19,269.5	8.8	21,179.8	22.7	26,371.6	47.6	25,431.1	40.9
（うち金利収入）	14,657.2	8.0	16,266.8	17.5	17,651.1	29.0	19,141.8	35.2	20,386.0	39.1
（うち手数料等収入）	938.3	-26.2	864.6	-6.4	943.4	17.1	859.7	-0.1	904.3	-3.6
（その他収入）	2,456.6	23.7	2,138.1	-27.4	2,585.3	-6.7	6,370.2	123.7	4,140.9	68.6
営業費用	6,037.4	3.9	7,528.2	6.9	6,884.1	21.8	8,449.3	40.2	8,029.3	33.0
貸倒引当金	775.6	138.2	854.7	-	2,493.1	231.4	502.6	-37.9	6,184.1	697.3
税前利益	11,239.1	5.0	10,886.7	1.7	11,802.7	8.7	17,419.7	57.9	11,217.7	-0.2
純利益	9,020.5	5.3	8,629.1	0.7	9,456.6	8.7	14,542.3	64.7	9,033.3	0.1
貸出債権残高	1,595,934.0	16.8	1,648,550.0	16.3	1,727,390.9	20.5	1,728,183.4	13.5	1,784,925.2	11.8
貸倒比率(年換算、%)	0.2	-	0.2	-	0.9	-	0.9	-	0.9	-

注1　収入は全て対応費用を差し引いた純額
注2　貸倒比率は貸倒引当金/貸出債権残高×4（年換算）で計算(%)
注3　2025年10－12月期の数値は2025年12月期の監査済み決算数値をもとに計算した数値である
出所　会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人資産運用業協会　　有効期限作成日より180日　　News20261112
主な事業　金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

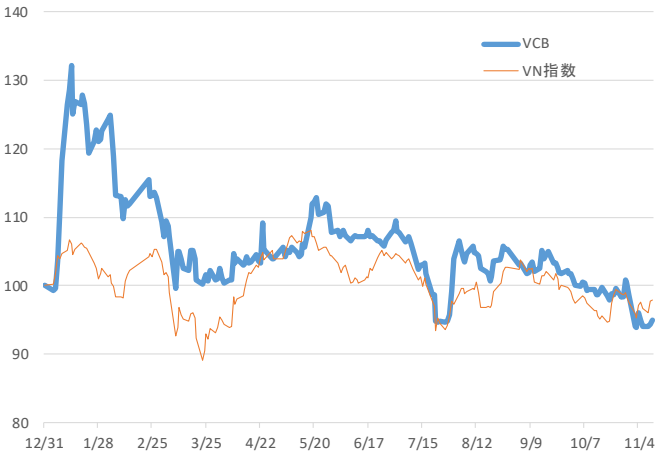
ベトコムバンク（VCB）

New-S Wealth Management

《株価の推移》

同社の株価とVN指数の2025年終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。同社の株価は、ベトナム政府が同社を含む国営4大銀行に対する株主還元姿勢を転換する決議を発表したことがきっかけに急騰した局面を除くと、VN指数とほぼ連動して推移していた。11月11日終値時点でVN指数が2025年末比2%の下落となっているのに対し、同社の株価は5%の下落となっている。11月11日終値54,200VNDで計算した時価総額は447.8兆VNDで、これは2025年12月期実績の純利益35.1兆VNDに対して12.9倍となっている。

図表2　株価推移



出所 各種データをもとに当社作成

7—9月期決算では預貸利ザヤの改善加速が確認され、貸出債権の増加と預貸利ザヤの改善をエンジンとした利益成長期待が一段と高まっている。また、保有資産の安全性を高める動きも積極的に進めている。ベトナムの資本市場の拡大に対する準備も進んでおり、株価パフォーマンスの改善期待が高まる可能性がある点には留意する必要があるだろう。

ニュース証券株式会社【関東財務局長（金商）第138号】
加入協会　日本証券業協会　一般社団法人資産運用業協会　　有効期限作成日より180日　　News20261112
主な事業　金融商品取引業

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク（カウンターパーティーリスク）、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。